

第24期 事業報告書

平成13年4月1日～平成14年3月31日



PROTO

(証券コード:4298)



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、当社第24期事業報告書(平成13年4月1日～平成14年3月31日まで)をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、平成13年9月12日に、ジャスダック市場に株式を上場させて頂きました。これも、皆様のご支援の賜物と、あらためて厚く御礼申し上げます。今後につきましては、株式上場企業としての責任を確実に果たし、株主重視の経営を行うため、適時適切な情報開示を行い、当社の実態を正しく把握して頂く様、努力してまいります。

さて、我が国の経済状況につきましては、民間設備投資が伸び悩みと共に、デフレ圧力、リストラによる失業率の上昇および雇用・所得環境の悪化により、個人消費も伸び悩み、依然として厳しい状況のまま推移いたしております。このような先行き不透明な経済状況の中、当社といたしましては、真に社会から必要とされる企業となるため、トップクラスの情報量を確保する事を目指してまいりました。この実現のため、情報の多角化およびエリアの拡大により、圧倒的な情報量のデータベースを構築し、多様化する消費者・クライアントニーズを的確に捉えながら、事業展開を行ってまいりました。

今後につきましても、従来から推し進めてまいりました情報の多角化、メディアの多角化、新規事業の確立を基本とした拡大均衡政策を継続的に実施していきたいと考えております。また、M&Aを積極的に推し進めると共に、優秀な人材の確保・育成に努め、上記戦略を成し遂げていきたいと考えております。

今期は、当社にとって創業25周年を迎える節目の年でもあり、企業価値の向上を図ると共に、真に光り輝く「21世紀型企業」の基礎を築き上げる1年としたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解、ご支援を賜ります様、心からお願い申し上げます。

平成14年6月

代表取締役社長 横山 博一

経営理念

当社の経営理念

物を売る事より知恵・情報を通じて 人・企業と効果的な結びつきをし、社会に貢献すること

当社の基本的な考え方は、「人・企業とは世の中において、また、その業界において真に必要とされる事」に価値観を持つ事です。他人、他企業と同じ事をしていては、世の中から必要とされる存在であるとは言えません。このため、常に「独創性のある事業」を行う事を目指しており、その結果として「魅力ある企業」でありたいと考えております。

「独創性のある事業」を行うには、どうすれば良いのか？当社が辿り着いた答えは、世の中に人や物が溢れている中から、本当に必要とされるためには、「情報」と「知力」を武器とし、多少のリスクがあっても、旺盛なチャレンジ精神とスピーディーな行動力で時代を切り開いていく事だと考えました。

当社は、社訓として「挑戦する勇氣 行動による証明」を掲げ、全社員に向けて、常に革新する事を求めています。革新とは、刻々と変化する環境や状況に対し、すばやく対応すると同時に一步先行する事であり、そのためには、個人も組織も絶えず自己否定を繰り返しながら、大きな目標を掲げて、より高い次元で挑戦していく事が必要であると考えております。

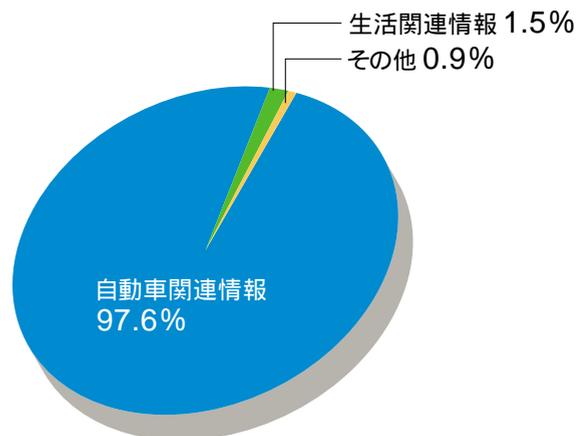
将来予測について

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となりうる事を、ご承知おきください。

事業内容について

当社の事業内容は、主に新車、中古車、パーツ用品などの自動車関連情報およびスキー・ゴルフなどの生活関連情報を収集・整理し、情報誌あるいはインターネットなど、様々なメディアを利用して、情報サービスを提供する事です。とは言っても、情報誌を販売している事から、「要は出版社でしょ」と仰る方もみえるかと思いますが、当社にとって情報誌とは、あくまで情報提供手段の一つであり“情報誌”だけに拘っている訳ではありません。読者・ユーザーに情報サービスを提供する事が第一であり、その手段については、読者・クライアントのニーズに合った最適なメディアを採用する考えであります。

当社の収益源は、主に、情報誌への広告掲載料と情報誌を書店・コンビニエンスストアで販売する際の本売上となっております。売上高に占める割合は、広告掲載料が約9割となっており、これ以外に、収集した情報を、インターネットを通じて提供する際に頂くデータ提供料や、当社が運営するインターネットサイト上に情報を掲載する際の情報登録料などがあります。



平成14年3月期 連結売上高構成比

自動車関連情報

自動車関連情報には、読者・ユーザー向けに提供する情報と、法人向けに提供する情報があります。読者・ユーザー向けには、クルマ、輸入車、バイクなどの小売価格情報、法人向けには、オートオークション会場での中古車落札価格情報、中古車基準価格情報があります。

主な事業展開	
1977年	中古車情報誌「月刊中古車通信(現GOO)」創刊
1985年	「週刊オークション情報」創刊
1992年	GOOの全国展開開始
1996年	中古車データ検索システム「データライン」開始
1996年	クルマ情報サイト「Goo-net」サイトアップ
2001年	ヤフー株式会社へコンテンツ提供開始
2002年	クルマパーツ情報誌「Goo Parts」創刊

生活関連情報

生活関連情報には、読者・ユーザー向けにスキー、ゴルフといったレジャー情報を提供しております。また、一部の情報コンテンツは、提携・連携先の企業に対しても、提供を行っております。更に、平成15年3月期中には、新たにカルチャー情報誌、海外旅行情報誌を発刊する予定としております。

主な事業展開	
1990年	ゲレンデ情報誌「POPSNOW」創刊
1992年	ゴルフ場ガイド「ティーショット」創刊
1999年	「POPSNOW net」サイトアップ
2002年	「Tee Shot」サイトアップ

その他

当社が保有するビルの保全管理を目的として、不動産管理事業を行っております。

読者・ユーザー向けの自動車関連情報

① クルマ情報について

クルマ情報とは、「どこのお店」で、「どんな車」が「いくらで売られている」かをまとめた情報であります。当社は、クルマ情報を収集・整理・分類し、読者・ユーザーに対して、クルマ情報誌『GOO』、あるいはクルマ情報サイト『Goo-net』、更に、iモードをはじめとするモバイル『クルマ情報・GOO!!』などを通じて、情報サービスの提供を行っております。

クルマ情報誌『GOO』は、情報誌に求められる「情報量」「スピード」「正確性」を全て満たしたクオリティの高さと共に、テレビ・ラジオCMの放映、電飾看板の設置等による広告宣伝活動により、『カーと言えばGOO』のキャッ

チコピー浸透に努めた結果、中古車に興味のない一般消費者にも幅広く認知される情報誌になりました。現在では全国10エリアに展開し、地域に密着した情報を、読者に対して提供しております。

また、『GOO』で収集されたクルマ情報は、クルマ情報サイト『Goo-net』、iモードをはじめとするモバイル『クルマ情報・GOO!!』にも掲載されます。更に、当社はヤフー株式会社と提携し、同社が運営する自動車関連サイト『Yahoo!自動車』に対して中古車物件情報の独占提供を行うなど、様々なメディアを利用する事により、幅広いユーザー層に対して情報サービスを提供しております。



▲クルマ情報誌『GOO』

北海道から九州の
全国10エリアで発刊



▲『クルマ情報 GOO!!』



▲クルマ情報サイト『Goo-net』
(<http://goo-net.com/>)

読者・ユーザー向けの自動車関連情報

2 輸入車情報について

輸入車情報につきましては、「輸入車のある楽しい生活の提案」をテーマに、各輸入車の特徴、旬の買い得モデルなど、様々な情報を満載した情報誌『Goo World』を刊行しております。平成13年9月に関東版、平成14年2月に西日本版を創刊し、既存の東海版・関西版をあわせて全国4エリアで刊行しております。また、インターネットサイトでも『GooWorld.jp』にて情報サービスの提供を開始しました。



◀輸入車情報誌『Goo World』



▲輸入車情報サイト『GooWorld.jp』
(<http://gooworld.jp/>)

3 バイク情報について

バイク情報につきましては、原付から大型自動車二輪、輸入バイクの情報から、新車紹介、メンテナンス情報など、様々な情報を満載した情報誌『Goo Bike』を、平成13年8月および9月に、関東・東海・関西・九州の4エリアで創刊いたしました。また、インターネットサイト上でも『GooBike.com』にて情報サービスの提供を開始しました。



▲バイク総合サイト『GooBike.com』
(<http://goobike.com/>)



◀バイク情報誌『Goo Bike』

4 パーツ情報について

パーツ情報につきましては、中古パーツから、レアもの、アウトレット、デッドストックなど、全国のパーツ情報を満載した情報誌『Goo Parts』を平成14年3月に創刊いたしました。また、インターネットサイト上でも『GooParts.com』にて情報サービスの提供を開始しました。



◀パーツ情報誌『Goo Parts』



▲パーツ情報サイト『Goo Parts.com』
(<http://gooparts.com/>)

法人向けの自動車関連情報

① 中古車落札価格情報について

中古車落札価格情報とは、全国のオートオークション会場において、中古車がいくらで売買されているのかといった価格情報であります。こうした情報を収集し、『週刊オークション情報』といったデータブックにて提供するほか、インターネットを利用したデータ検索システム『データライン』を通じて提供しております。こうした商品は、中古車販売店において、仕入、販売価格の見積りなどに活用されております。



車種	年式	走行距離	落札価格	落札日
トヨタ	2010	10000	1000000	2010/01/01
本田	2009	15000	900000	2010/01/02
日産	2008	20000	800000	2010/01/03
スズキ	2007	25000	700000	2010/01/04
三菱	2006	30000	600000	2010/01/05

▲中古車データ検索システム『データライン』



▲オークション情報



② 中古車基準価格情報について

中古車基準価格情報とは、全国のオークションデータを逐一集約し、当社が保有する自動車に関するデータを詳細に分析する事によって、車種、年式、色など要素別に取り引価格を参照できる様にした業界向けデータであります。中古車の仕入、下取り、販売価格の見積りなどに活用されており、『中古車基準価格ガイドブルーブック』として、中古車販売店に購読されております。

また、大手メーカー・ディーラー向けに、中古車基準価格情報をカスタマイズした情報の提供も行っております。



▲中古車基準価格ガイド『ブルーブック』

生活関連情報

1

レジャー情報について



▲ゲレンデ情報誌『POPSNOW』



▲iモード『POP SNOW Navi』

スキー情報

スキー情報につきましては、スキー場におけるゲレンデの積雪情報、温泉・宿泊施設、スキー場までのアクセス情報など、様々な情報を満載した情報誌『POP SNOW』を、首都圏・東海・関西の3エリアで刊行しております。また、インターネットサイト上では『POP SNOW net』iモードでは『POP SNOW Navi』にて各種情報を検索できる様になっております。



▲ゲレンデ情報ガイド『POP SNOW net』
(<http://www.popsnow-net.com/>)

ゴルフ情報

ゴルフ情報につきましては、各地のゴルフ場の料金、利用方法、ゴルフ場までのアクセス情報など、様々な情報を満載したゴルフ場ガイド『ティーショット』を、北海道・東北・首都圏・中部・関西・中・四国・九州の7エリアで刊行しております。



◀ゴルフ場ガイド『ティーショット』

生活関連情報

『Tee Shot』は、現在発刊しているゴルフ場ガイド「ティ一ショット」をベースとしたインターネットサイトであり、平成14年4月からサイトアップしております。全国ゴルフ場情報の検索が可能になっている上、ゴルフ場の予約がインターネット上で可能となっております。また、他サイトとの差別化として、主要都市のゴルフ練習場情報や、ピギナーゴルファーのためのマナーコンテンツも完備している事も特徴です。



◀ゴルフ場インターネット予約サイト『Tee Shot』
(<http://teeshot.jp/>)

2 平成15年3月期からの新規事業について

カルチャー情報誌の創刊

近年、英会話をはじめとする語学、パソコン、各種資格取得といった専門スクールに通う人達が多くなってきており、通信教育、放送大学などの受講や、自宅学習といったものまで含めた生涯学習の市場規模は、拡大傾向にあります。こうした背景のもと、当社は人々

に知的向上心・好奇心、自己発見を実現する機会を提供するため、語学、パソコン、資格取得、通信教育等に関する情報をまとめた情報誌を創刊する予定であります。

海外旅行情報誌の創刊

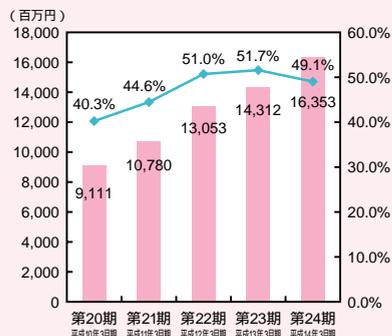
海外旅行につきましては、昨年の米国同時テロの影響により、一時的に海外旅行者数は減少したものの、潜在的な消費者ニーズは極めて高いものとなっております。また、近年、航空代金の低価格化も進んできている事から、今後、海外旅行に対するニーズはますます高まってくる事が予想されます。

当社は、海外旅行に特化した情報誌を創刊し、消費者ニーズに対応すると共に、市場の更なる活性化に貢献したいと考えております。



財務ハイライト(単体)

売上高 売上高総利益率



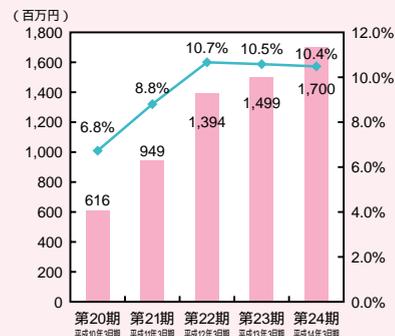
解説

売上高総利益率および売上高営業利益率が前期を下回った要因は、新規媒体立上げおよび既存媒体の増刊化等により、売上原価率が上昇したためであります。

営業利益 売上高営業利益率



経常利益 売上高経常利益率



当期純利益 売上高当期純利益率



解説

売上高当期純利益率が前期を上回った要因は、前期の特別損失において、過年度役員退職慰労引当金1億が発生しており、当期は大きな特別損失が発生しなかったためであります。

総資産



株主資本



解説

株主資本が大きく上昇した要因は、平成13年9月12日付で公募増資を行った事により、資本金および資本準備金が増加したためであります。

財務ハイライト(単体)

株主資本利益率(ROE)



総資本経常利益率(ROA)



1株当たり配当額 配当性向



解説

配当性向が大きく上昇した要因は、平成13年5月2日付をもって株式分割を行った事と、ジャスダック上場記念配当7円50銭を実施するためであります。

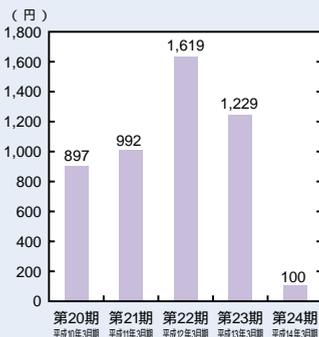
1株当たり純資産



解説

1株当たり純資産、1株当たり当期純利益が大きく減少した要因は、平成13年5月2日付で500円額面1株を50円額面15株に株式分割を行い、更に平成13年9月12日付で公募増資を行った事により、発行済株式総数が前期末515,000株に対し、今期末8,725,000株と大きく増加したためであります。

1株当たり当期純利益



株主資本比率



解説

株主資本比率が大きく上昇した要因は、平成13年9月12日付で公募増資を行った事により、資本金および資本準備金が増加したためであります。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目		当連結会計年度 (平成14年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成13年3月31日現在)
資産の部	流動資産	7,756,863	5,555,582
	固定資産	5,453,050	5,198,468
	資産合計	13,209,913	10,754,050
負債の部	流動負債	5,362,260	5,593,579
	固定負債	681,562	720,794
	負債合計	6,043,822	6,314,374
少数株主持分		51,095	36,246
資本の部	資本金	1,824,620	1,016,620
	資本準備金	2,011,536	939,536
	連結剰余金	3,281,783	2,455,159
	その他有価証券評価差額金	-989	-7,885
	自己株式	-1,955	-
	資本合計	7,114,995	4,403,429
負債・少数株主持分及び資本合計		13,209,913	10,754,050

流動資産の増加要因

いずれも株式公開時の
公募増資によるものであります。

資本の部増加要因

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)
売上高	16,515,881	14,470,389
売上原価	8,138,669	6,802,007
売上総利益	8,377,212	7,668,382
販売費及び一般管理費	6,599,076	6,091,639
営業利益	1,778,136	1,576,743
営業外収益	42,622	31,391
営業外費用	78,479	104,635
経常利益	1,742,279	1,503,499
特別利益	2,000	4,328
特別損失	60,850	137,100
税金等調整前当期純利益	1,683,430	1,370,727
法人税、住民税及び事業税	837,018	797,502
法人税等調整額	-34,616	-59,793
少数株主損益	14,848	-40,230
当期純利益	866,179	673,248

売上高の増加要因

新規媒体の創刊および既存媒体の
増刊化によるものであります。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度 (平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,247	1,697,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	-170,459	-266,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,676,285	-619,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	210	792
現金及び現金同等物の増加額	1,701,283	812,071
現金及び現金同等物の期首残高	3,141,683	2,329,612
現金及び現金同等物の期末残高	4,842,966	3,141,683

営業活動によるキャッシュ・フローの減少要因

仕入コスト低減のため、主要仕入先に対し、単価引下げの協力をお願いし、同時に支払条件の変更を行った事により、仕入債務が大きく減少したためであります。

財務活動によるキャッシュ・フローの増加要因

株式公開時の公募増資により、大きく増加しております。

単体財務諸表

単体貸借対照表

(単位：千円)

科目		当期 (平成14年3月31日現在)	前期 (平成13年3月31日現在)
資産の部	流動資産	6,482,261	4,297,221
	固定資産	5,360,071	5,225,834
	資産合計	11,842,333	9,523,055
負債の部	流動負債	4,495,969	4,773,978
	固定負債	267,853	350,324
	負債合計	4,763,822	5,124,302
資本の部	資本金	1,824,620	1,016,620
	資本準備金	2,011,536	939,536
	利益準備金	254,155	14,089
	その他の剰余金	2,991,143	2,436,392
	その他有価証券評価差額金	-989	-7,885
	自己株式	-1,955	-
資本合計	7,078,510	4,398,752	
負債資本合計	11,842,333	9,523,055	

流動資産の増加要因

いずれも株式公開時の
公募増資によるものであります。

資本の部増加要因

単体損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成13年4月1日から平成14年3月31日まで)	前期 (平成12年4月1日から平成13年3月31日まで)
売上高	16,353,594	14,312,494
売上原価	8,318,178	6,907,010
売上総利益	8,035,415	7,405,483
販売費及び一般管理費	6,452,351	5,938,890
営業利益	1,583,064	1,466,593
営業外収益	137,905	44,540
営業外費用	20,951	11,703
経常利益	1,700,018	1,499,430
特別利益	2,000	4,328
特別損失	59,401	202,536
税引前当期純利益	1,642,617	1,301,222
法人税、住民税及び事業税	830,000	769,100
法人税等調整額	-20,824	-101,027
当期純利益	833,441	633,149

売上高の増加要因

新規媒体の創刊および既存媒体の
増刊化によるものであります。

利益処分

(単位：千円)

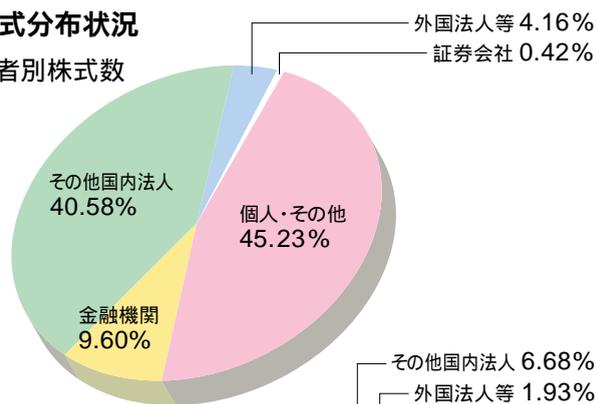
科目	第24期	
・当期未処分利益		961,143
・利益処分数額		
1. 配当金	130,852	
2. 役員賞与	13,085	
3. 別途積立金	700,000	843,937
・次期繰越利益		117,206

株式の状況 (平成14年3月31日)

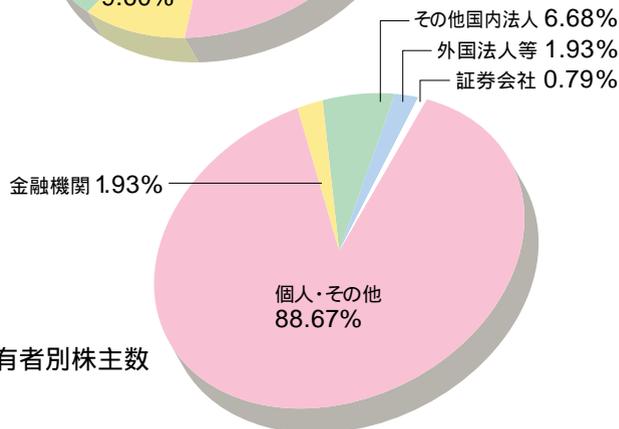
1. 会社が発行する株式の総数 30,900,000 株
2. 発行済株式総数 8,725,000 株
3. 株主数 883名
4. 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
(株) 夢 現	2,662,000	30.5%
横山 博一	1,022,000	11.7%
横山 順弘	734,150	8.4%
(株) UFJ銀行	352,500	4.0%
加藤 清	213,000	2.4%
社員持株会	169,135	1.9%
齊藤 実	138,300	1.6%
高橋 孝夫	134,400	1.5%
横山 宗久	108,935	1.2%
エヌ・アイ・エフ・ベンチャーズ(株)	107,000	1.2%

株式分布状況
所有者別株式数



所有者別株主数



株主MEMO

- ・ 決算期 毎年3月31日
- ・ 定時株主総会 毎年6月
- ・ 利益配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- ・ 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
- ・ 1単元の株式数 1,000株
- ・ 上場市場 ジャスダック市場
- ・ 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社
- ・ 同事務取扱所 〒137-8081
(お問い合わせ先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話(03)5683-5111(代表)

- ・ 同取次所 UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国本支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料) 0120-24-4479
インターネットホームページ <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

- ・ 公告掲載新聞 日本経済新聞

当社は、今期より決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算書を当社のホームページ <http://www.proto-g.co.jp/IR/library.html> に掲載しております。

最新のIR情報は
当社HPをご覧ください。



<http://www.proto-g.co.jp/>